

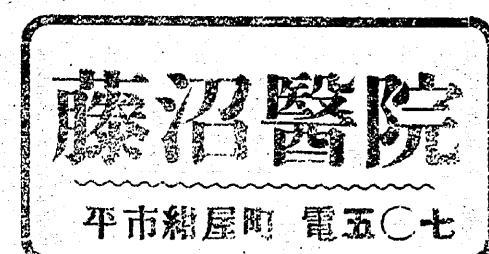
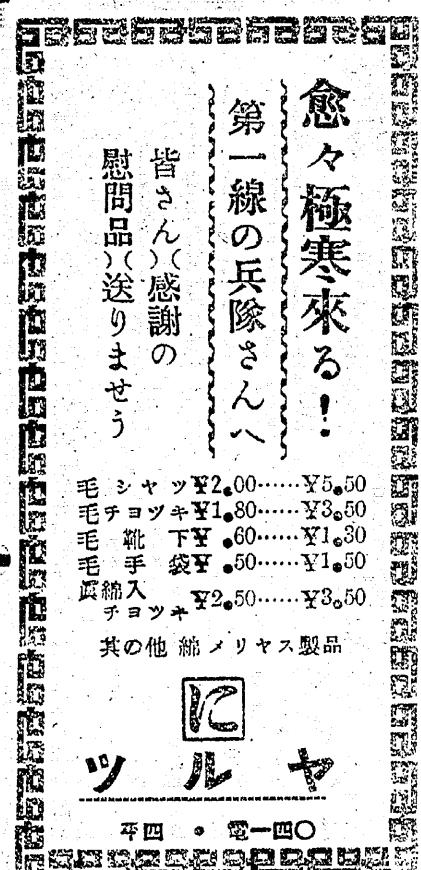


殊に積雪期間の長い地方では雪の上に土砂または木灰を撒布して融雪を早めるることは多少効果的である、但し三斗式石灰ボルト液の二回撒布が最も効果多く、一回の撒布量は反當凡そ六斗、薬剤代は約五十錢、それには二人で一日二反乃至三反ぐらゐである、冬の手入、次に病害ではないが冬期手入上の注意としては霜柱によつて根が浮上する被害を防ぐことに努めねばならぬ、これは天候等の事情によつて遅咲きとなつた場合殊に必要で此の際は麥の成長が矢張り遅れるから分量を増して播くとか肥料にしても追肥よりも原肥を多くするなど心掛けることが必要である、また開東地方の如き土の軽い火山灰地方では殊に霜柱の爲め根が浮上り易いからなるべく踏壓をやる一方充分に腐熟した堆肥を根の周圍に施用

麥の菌核病

冬期間の農家は  
切實な苦勞の種

して浮上りを防ぐことが必要である(終り)



今般副院長として高橋俊幸氏を招聘し「内臓科・一般外科・皮膚泌尿器科」の診療に従事せしを

平 病院  
（平市元共済病院跡）  
電話六四一一番

